



奈良をもっと良くしよう

健康寿命日本一を達成するとともに、高齢者や障害者を含む誰もが健やかに暮らせる地域づくりを進めます。

健康長寿の取組を推進します。

「健康寿命日本一」の目標達成を目指し、健康、医療、介護分野の関連計画と連動した取組を推進します。

平成30年度の主な取組

- 健康づくりの推進
 - ・(新)農作業を通じた健康づくりや介護予防に取り組む市町村等を支援等
- 歯科口腔保健の推進
 - ・(新)「(仮称)県口腔保健支援センター」を設置し、市町村等の歯科口腔保健の取組を強化等
- 自殺対策の推進
 - ・(新)「(仮称)自殺対策支援センター」を設置等
- がんの予防と医療体制の充実
 - ・(新)県内のがん診療情報の「見える化」を推進等
- 医療提供体制の構築
 - ・(新)救急医療や高度医療を担う「断らない病院」と地域包括ケアシステムを支える「面倒見のいい病院」の機能強化を促進等
- 医療費の適正化
 - ・(新)医療品の重複・多剤投与の解消など第3期医療費適正化計画に係る取組を推進、進捗状況を把握等
- 介護サービス提供体制の整備
 - ・(新)市町村等の介護給付適正化への取組を支援
 - ・(新)市町村等の介護予防・日常生活支援への取組を支援

関連予算 H30:488百万円(H29:488百万円)



スポーツ施設のあり方とまほろば健康パーク周辺の機能強化を検討します。

県全域におけるスポーツ拠点施設の中長期的な整備に関するビジョンを策定します。

平成30年度の主な取組

関連予算 H30:12百万円(H29:-百万円)

スポーツ施設のあり方検討

- 国民体育大会等の大規模な競技大会を想定した、県全域における中長期的なスポーツ施設のあり方を検討
 - ・大規模大会等の開催に必要な施設規模や機能、立地条件等の整理等

まほろば健康パーク機能強化検討

- まほろば健康パークの隣接地について、同パークの機能を強化し、一体的に効果を発現できるよう利活用策を検討(検討範囲の現地条件把握と整理、利活用方策の検討)



出典:国土地理院ウェブサイト
(<http://mapps.gsi.go.jp/maplibSearch.do#1>)

平成30年5月1日に、新奈良県総合医療センターが開院します。

北和地域の高度医療拠点として、「救急医療」「周産期医療」「がん医療」分野等の高度な医療を提供する新奈良県総合医療センターが奈良市七条西町地区に開院します。

平成30年5月1日移転開院予定

関連予算 H30:3,649百万円(H29:20,060百万円)



新奈良県総合医療センター



中央ホール



放射線治療室

【整備概要】

- 位置:奈良市七条西町2丁目897-5
- 建物:診療棟、入院棟、教育研修棟、エネルギーセンター棟
- 構造:鉄骨造一部鉄筋コンクリート造(免震構造)
- 階数:地下1階、地上7階 ○高さ:25m ○延床面積:67,792㎡

医療の見える化を進めます。

地域医療構想の実現に向け、県内の診療機能・診療情報の比較分析等、奈良県医療の「見える化」に取り組みます。

平成30年度の主な取組

- 地域医療提供体制の構築
 - ・(新)医療の「見える化」推進
 - ・(新)ならのがん医療見える化の推進 等

関連予算 H30:23百万円(H29:-百万円)

奈良県の医療の「見える化」

- ・県内の診療機能・診療情報の比較分析
- ・分析結果を医療機関へフィードバック
- ・県民への公表方法等の検討

「断らない病院」とは

- ・緊急で重症の患者の受入を断らない病院
- ・総合的かつ高度な機能を有する病院

病院の診療機能情報

- ・「断らない病院」「面倒見のいい病院」としての機能を指標化して病院間で情報共有し、機能の発揮・連携の強化を推進
- ・病院の認証制度等を検討

「面倒見のいい病院」とは

- ・医療と介護が融合した病院
- ・在宅復帰、在宅医療に取り組む病院
- ・かかりつけ患者等の救急受け入れ、増悪時の対応を行う病院

がん診療情報

- ・病院別、がん種別にごん診療情報を比較分析

地域別がん対策情報

- ・がん関連データを分析し、分析結果に基づいた地域における効果的ながん対策の取組を提案

国民健康保険の財政運営を県単位に拡大します。

国民健康保険(国保)の制度は、平成30年4月から「各市町村ごとの運営」から「県域での運営」に変わります。

平成30年度の主な取組

- 国民健康保険の県単位化に伴い、新たに国民健康保険事業費特別会計を設置
 - ・(新)(仮称)国保事務支援センターの設置

- 平成30年4月から、県も市町村とともに国保の運営に変わり、国保の財政運営を市町村単位から県単位に拡大します。これにより、予期せぬ医療費増等の財政リスクの軽減など、**国保運営の安定化**につなげます。

- 「**同じ所得・世帯構成であれば、県内のどこに住んでも保険料が同じ**」(平成36(2024)年度予定)になることを目指し、**加入者の負担の公平化**につなげます。

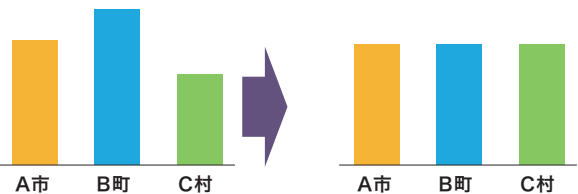
- 医療費は毎年増加の傾向ですが、今回の国保制度の改正によって保険料負担が一定程度増加する加入者については、一度に過度な負担増とならない仕組みを設けます。

- 必要な医療サービスを安心して受けていただけるよう、県、市町村、関係機関が連携して、引き続き、**医療提供体制の整備**や**医療費の適正化**に取り組んでいきます。

関連予算 H30:125,850百万円(H29:-百万円)

保険料(現行)

保険料(H36年度~)



同じ所得・世帯構成でも、市町村間で加入者の保険料には、差があります。

同じ所得・世帯構成であれば、加入者の保険料に差はなくなり、公平となります。

加入者の皆さんにとっては、将来的に急激な保険料上昇が起きにくくなり、安心につながります。

県民が安全で安心して快適に暮らし続けられる奈良県づくりを進めます。

未就学児の医療費助成における現物給付方式の導入に向けた取組を推進します。

未就学児の医療費助成について、平成31(2019)年8月からの現物給付方式導入に向け、市町村とともに取組を進めていきます。

関連予算 H30:48百万円(H29:-百万円)

平成30年度の主な取組

- (新)未就学児の医療費助成における現物給付方式の導入準備

【現物給付方式の導入に伴う変更点】

- 平成31(2019)年7月診療分まで(自動償還方式)
 - 受給者は医療機関窓口で自己負担部分(医療費の2割)を支払い、後日、市町村から福祉医療一部負担金を控除した額を受給者の口座に振り込み



- 平成31(2019)年8月診療分から(現物給付方式)
 - 受給者は医療機関窓口で福祉医療一部負担金のみを支払い

病児保育施設の充実を図ります。

子育て世代が、安心して働きながら子育てができるよう、病気の子ども等を一時的に保育するための病児保育施設の整備等を促進することにより、県内の病児保育施設の充実を図り、「子どもを生み育てやすく、子どもが健やかに育つ奈良県づくり」の実現を目指します。

関連予算 H30:33百万円(H29:-百万円)

平成30年度の主な取組

- 病児保育施設の整備等に対する支援

【市町村等が実施する病児保育施設の整備等に対する支援】

- 平成30年度整備等予定市町村
 - ・奈良市：新設(1箇所)
 - ・香芝市：新設(1箇所)
 - 設備整備(1箇所)

